

南海・難波駅の“表札”が新しくなります

～文字&ビジュアルで沿線名所をご案内します～

南海電鉄（社長 亘 信二）では、南海・難波駅の玄関として、また大阪ミナミ・なんばのランドマークとして親しまれている「南海ビル」の美装化改装工事にあわせて、2月27日（金）同ビル外壁で掲示している旅客案内用の大型駅サインボード（駅名・行き先表示看板）を一新します。

従来はネオンサインによって駅名と行き先を表示していましたが、新サインボードは南海ビル壁面と統一感を持たせた「ガラススクリーン」に収めた構造とし、駅名の「南海なんば駅」を内照式立体文字（チャンネル文字）で、世界に開かれた大阪の玄関口にふさわしく所要時間などの「アクセス情報」を白色LED文字による英語・中国語・韓国語の3言語で、「美しい景観を背景にした主な行き先（日本語）」を内照式看板（透過性懸垂幕）による時季に応じたビジュアルで、それぞれ表示します。

詳細は次ページのとおりです。



従来の駅サインボード(平成19年春撮影)



新たに登場する駅サインボード（イメージ）



難波駅の大型駅サインボードについて

1. 掲示開始日 平成21年2月27日(金)
2. 掲示場所 南海ビル(難波駅)北側正面
所在地：大阪府中央区難波五丁目1番60号
3. 駅サインボードの概要

ボード全体の寸法：縦16,307mm×横7,661mm

以下のデザインは、初回(2月27日以降)に掲示する「みさき公園のイルカショー」を背景にした行き先案内ビジュアルです。



駅名表示

「南海なんば駅」の駅名表示を御堂筋から視認性の高い位置に変更し、南海ビルが難波駅の玄関であることを分かりやすくします。

LED照明による内照式立体文字(チャンネル文字)で光ります。

アクセス情報表示

関西国際空港と直結する大阪の玄関口にふさわしく「行き先(高野山・関西国際空港など)」「所要時間」などのアクセス情報を、白色LED文字表示装置を使用して英語・中国語・韓国語の3言語で表示します。

行き先/沿線情報

主な行き先および沿線情報(観光名所)などを、内照式看板(透過性懸垂幕)を使用して昼夜ともくっきりと美しいビジュアルで表示します。

背景のデザインについては時季に応じて変更します(別紙参照)。

【ご参考】難波駅改良工事について

南海電鉄では、『南海ターミナルビル』などの再生計画(「南海ビル」美装化改装工事、「ウェルカムロビー(仮称)」の整備など)の一環として、平成19年10月から「難波駅改良工事」に取り組んでいます。

これまで、3階と1階を結ぶ大階段部分を室内吹き抜け大空間にしたり、2階中央改札口に「難波駅サービスセンター」を設置するなど整備を進めてきました。

現在は、3階北改札口の駅務室移設をはじめ、駅サインの見直しや構内店舗の充実などに取り組んでおり、同工事全体の完成は今年秋の予定です。

以上

【ご参考】今後の行き先案内ビジュアル案

